

第2次伊豆の国市総合計画後期基本計画

全体評価について

(企画財政部 政策企画課)

令和8年7月

本日の趣旨 — 後期基本計画の「全体評価」

審議会の役割

- 総合計画の策定に関する調査審議
- 総合計画の進行管理に関する意見
- 本日の全体評価は、後期基本計画の進行管理の総括として報告するもの

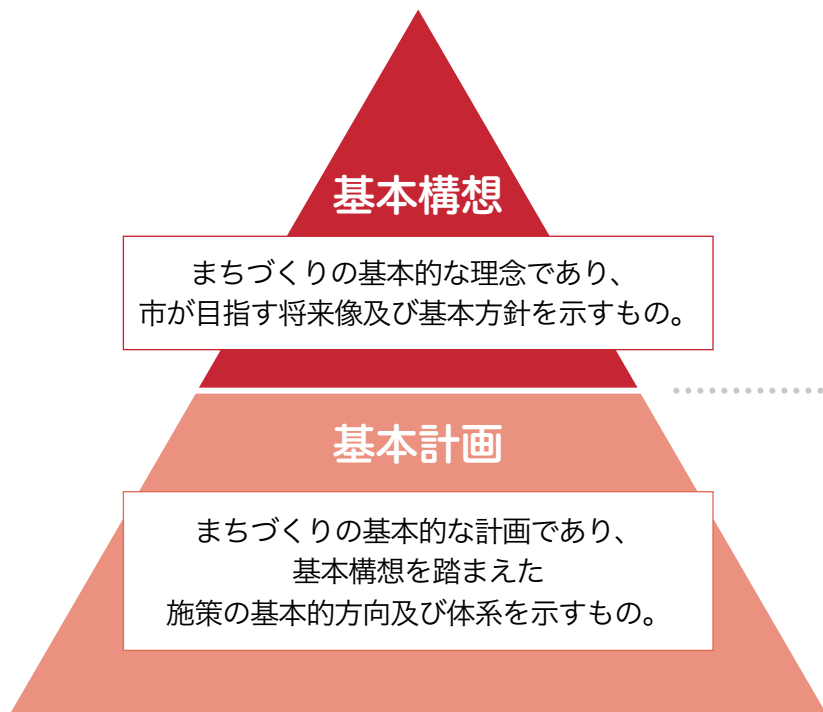
本日の位置づけ

- 後期基本計画（令和4年度～令和7年度）の期間満了に伴う4年間の総括を報告
- 評価の考え方は、後期基本計画を通じて用いてきた継続的な枠組み
- 整理した課題は、既にスタートした第3次総合計画に反映済み

全体評価の総括について、ご意見をいただきたい

第2次総合計画の構成と期間

計画の構成



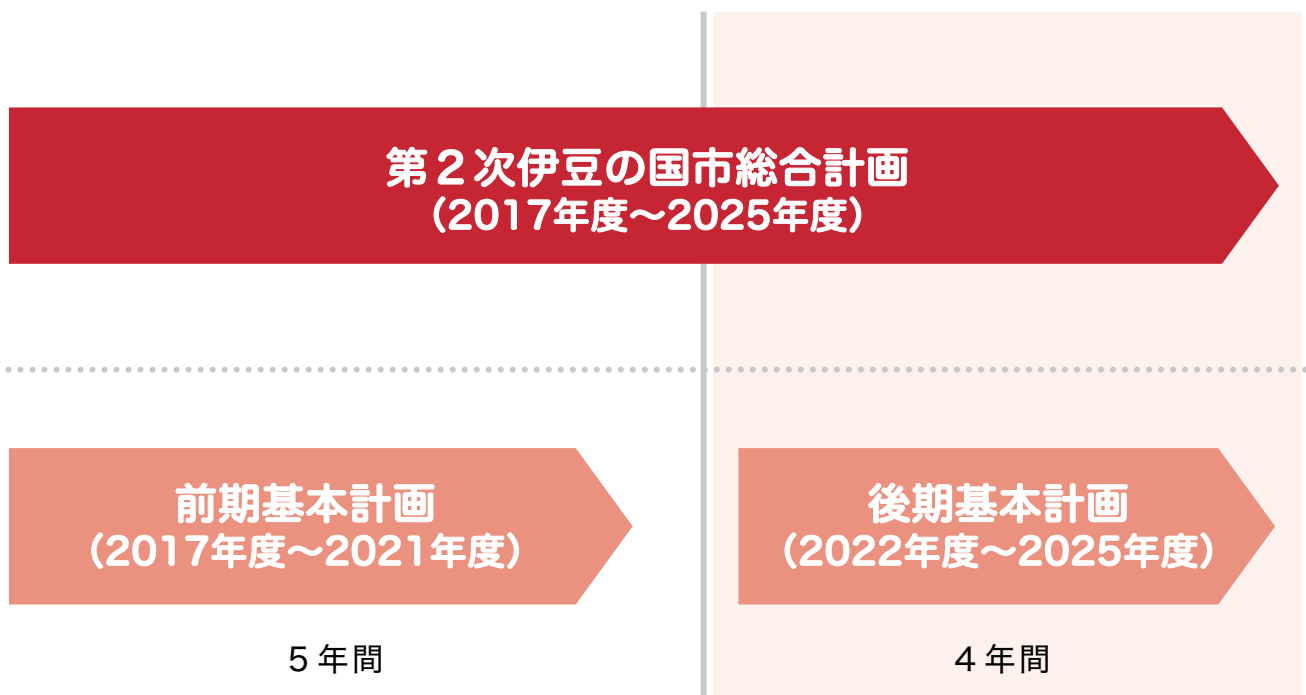
計画の期間

2017年度
(平成29年度)

2021年度
(令和3年度)

2022年度
(令和4年度)

2025年度
(令和7年度)



評価の考え方（後期基本計画を通じた継続的な枠組み）

指標の達成・未達のみで機械的に判定するのではなく、政策の柱ごとに掲げた「目指すまちのすがた」に対して、次の4つの観点から総合的に評価します。

取組実績

毎年度の進行管理の積み上げにより、
4年間の取組を整理。

市民実感

まちづくり市民アンケート（令和6年度）の
結果を補足的に参照。

指標

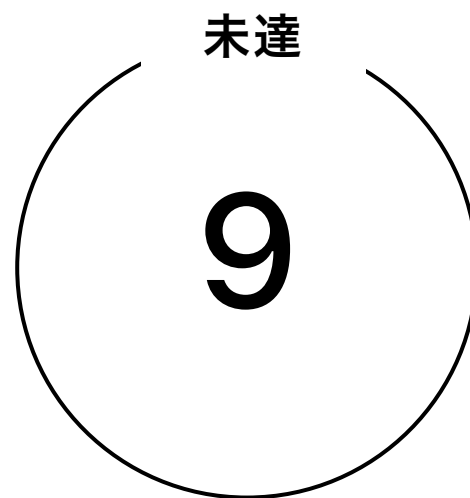
政策の柱ごとの指標（21指標）の推移。
目指すまちのすがたに向けた
進捗・方向性を確認するものとし、
達成状況は評価の一要素として活用。

課題と継承

残された課題を明確化し、
第3次総合計画のどの分野へ
引き継いだかを整理。

政策の柱（21）ごとに整理 → 基本方針（7）ごとに「今後の方向性」を総括

全体概要 — 指標の達成状況（21指標）



※未確定：統計値が確定していない指標
（市内農業生産額、生活習慣病による死亡率）

指標を見る際の留意点

- 指標は政策の柱の進捗や方向性を確認するものであり、達成・未達がそのまま政策の成否を示すものではない
- 未達の指標にも、改善傾向にあるもの（CO₂排出量等）、外部要因の大きいもの（観光交流客数等）が含まれる

資料の構成と見方

資料2

政策の柱別評価シート

- 基本方針（7）・政策の柱（21）ごとに、主要施策・重点取組の実績を整理
- 基本方針ごとに、指標・市民アンケート結果・「取組実績を踏まえた今後の方向性」を掲載
- 「今後の方向性」は、残された課題と第3次総合計画への継承内容の整理に当たる部分

資料3

指標達成状況一覧

- 21指標について、基準値・目標値・各年度実績（令和4年度～令和7年度）・達成状況を一覧化
- 達成状況は原則として令和7年度実績値で判定（複数年度平均で目標設定した指標は当該期間の実績で判定）
- 「第3次総合計画への引継」欄で、各指標が第3次総合計画のどの分野に対応するかを確認